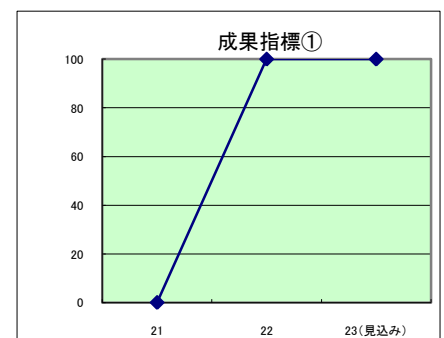
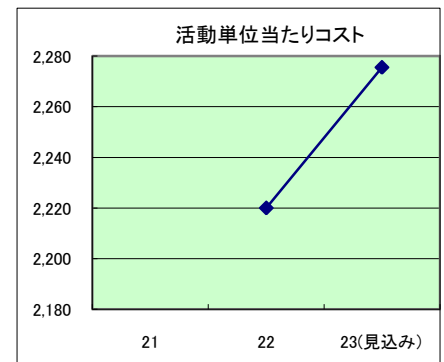


総合基本計画	事務事業名	幼稚園まつり事業		予算科目	会計	1	一般会計	
	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	10	教育費	
					項	4	幼稚園費	
					目	1	幼稚園費	
					事業	17	幼稚園まつり	
施策(節)	2	学校教育	作成部署	教育委員会事務局学校教育室学校教育課				
施策の方向	(4)	幼児教育の充実						
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4251			
事業の目的	対象(誰を・何を)				市立幼稚園の園児及び保護者			
	意図(どういう状態にしたいのか)				豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める。			
	事業の内容				市内14幼稚園の全園児が毎年11月に、羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。内容として、パラバルーンやダンス等幼稚園教育要領に沿った内容である。(21年度は、新型インフルエンザで中止)			
根拠法令等				教育基本法・学校教育法				
事業開始時期				☐ 昭和 8 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				
事業開始時からの状況変化				園児の減少、園児送迎バス代の値上がり 駐車場駐輪場の案内				
市民や議会の要望								
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先				☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他				

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		0	753	853	
人件費【2】 (千円)		0	3,243	3,243	
職員数	正規職員	0.00 人	0.28 人	0.28 人	
	再任用職員	0.00 人	0.55 人	0.55 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.04 人	0.04 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		0	3,996	4,096	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	0	3,996	4,096	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 参加者数		人		1,800	1,800
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		円	2,220 円	2,276 円	
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		0 円	34 円	35 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	参加率	%	在籍園児数に対する参加者数の割合	目標	0	100	達成率(%)	100
		(式) 参加園児数÷在籍者数×100			実績	0	100	100.0%	
	②	保護者参加率	%	在籍園児数に対する参観保護者の割合	目標	0	100	達成率(%)	100
		(式) 参加園児数÷参観保護者数×100			実績	0	100	100.0%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市立幼稚園が合同で一か所に集い、日ごろの練習成果を発表し、交流を深めることは重要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	市立幼稚園全体で行う交流と友情を育む事業であり、保護者にとっても期待が大きい。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☐	☐	☒	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☐	☒	☐	単価コストが高いことが課題である。中学校区単位での取組みなど改善が求められている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市内幼稚園教育を内外にアピールするとともに、楽しい遊びや交流を通じて豊かな心を育むために有効である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	保護者の協力を得ながら事業推進している。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	平成22年度における在籍園児の参加率は100%であった。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	年1回の開催で多額の費用を要していることを考慮すると、中学校区単位での取組み等方法の改善が求められるところである。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 保護者の意見も聞きながら、他の効果的な手法や開催方法を含め検討する。	
	行本部評価	評価理由・意見

☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善
☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了